

DX推進の道しるべ 実施前に考慮すべき 6つのステップとは？

本資料では、デジタルトランスフォーメーション（DX）の実施を前に、重要な考慮事項となる6つのステップについて解説します。適切な準備と計画を行うことで、組織はDX実施においてリスクを最小化し、目標達成に向けて確かな一歩を踏み出すことができます。的確なプロジェクト計画立案や戦略策定を行うことで成功への道を切り拓くことができます。

DXの現状が抱える課題ポイント

貴社のDX施策を「DXを始めたい！データ活用を始めたい！」と漠然と進めていませんか？

これまで企業では、各事業部や拠点ごとの各業務最適化の観点でシステム導入行われてきました。別々のシステムを導入し、データ所在や形式が統一化はされておらず、データが必要になったときに収集・加工を繰り返す為、活用すべき貴重なデータを連携することが困難でした。

世間を見ると、DX = 「可視化」「AI」と推進を進めていますが、DXの原材料である“データ”の理解・整理ができていない状態で進める企業が多く「思うようなデータ活用の効果がでない」と嘆いているのが現状です。

それでは、DX推進に思い悩む企業と成功する企業は、具体的に何が違うのでしょうか？

その鍵は6つのステップにあります。成功している企業は、この6つに注力し対策をとっています。



DXを成功に導く6つのステップ

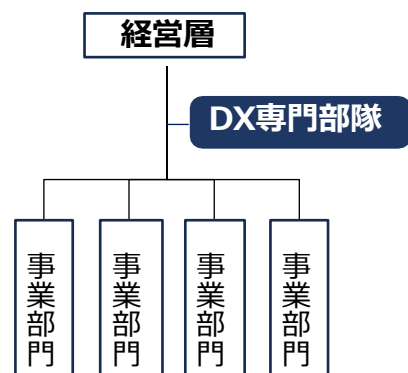
バランスの取れたステップで実現！必須の6ステップとは？



専門部隊の重要性

これら6ステップを十分に対応するためには、中心となるDX専門部隊の組織作りが必須です。またこの専門部隊には、トップダウンで意思決定を下せる「特権」が必要です。事業部から警戒や抵抗があった場合でも、特権により調整をスムーズに進め、プロセスを迅速に進めることができます。

また、各現場のスペシャリストを集結させれば、各現場のニーズや事情を汲み取りやすくなります。現場での課題解決や、部署の垣根を超えた企画・戦略により、多角的な視点でDXを促進できます。



ステップをどのように進めるべきかお悩みでしたら**NSW** へご相談ください

